

競馬の世界

授業概要

わが国の「競馬の世界」は、1862年に初めて競馬が行われて以来約150年の歴史がある。その人気は、新聞、テレビなどのメディアによる報道や数万人のファンを集めるレースが行われていることから知ることができる。「競馬の世界」には、その主役である馬とともに農家、厩舎、騎手、獣医師など多くの専門家が関わっていることを学ぶ。また、競馬の歴史、競馬に関わる様々な人々、スポーツとしての馬術などについても学ぶことで日本の馬文化についても理解する。

到達目標

1. 日本の競馬を支える人々とその役割を説明できる。
2. 競馬の運営に関わる法律、その他のルールについて説明できる。
3. 競馬の運営手法を学ぶことを通して、興行、組織運営、国際ルールへの対応などについて説明できるようになる。
4. 日本の馬文化について例を挙げて説明できる。

成績評価

授業毎に前回の講義内容の理解度を確認する小テストを実施する。小テスト（90%）と札幌競馬場の現地見学に対するレポート（10%）により理解度を総合的に判定し、成績を評価する。

授業計画

「競馬の世界」に関わる専門家が以下のトピックについて講義するとともに、競馬の現場を見学することで講義内容の理解度を深める、全15回分の授業を行う。

1. 競馬・JRAの概要
2. 馬事振興への取組み
3. 競馬のコンピュータシステムと情報サービス
4. 馬の繁殖学
5. 競馬番組
6. JRAのギャンブル等依存症対策
7. 世界の競馬
8. 馬の解剖学
9. 競技場としての競馬場（施設・馬場）
10. 競走馬の生産
11. 映像コンテンツとしての競馬
12. 競走馬の学術的研究
13. プロモーション戦略
- 14,15. 競馬場見学

注意事項

授業計画は、講師派遣の都合により前後する場合があります。また、競馬場見学は6月～7月の土曜日に実施する予定であるが、COVID-19の感染状況およびオリンピックの準備状況によっては中止となる場合があります。見学が実施される場合でも、都合により見学に参加できない場合にはレポート提出などでの対応となる。